

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.152

2016年10月3日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748

## 9月議会

### 一般会計補正予算案等に反対し、BRT専用走行路に関する陳情等の採択を求めて討論 — 渡辺議員 —



渡辺有子議員

9月議会最終日の27日、渡辺有子議員は日本共産党議員団を代表して、「平成28年度一般会計補正予算案」に反対の立場から、また、陳情「専用走行路に関する社会実験について」の採択を求めて討論を行いました。

#### 「食料農業大学」創設補助の債務負担行為に反対

一般会計補正予算案には、NSGグループが新潟市食料農業大学（仮称）を創設することに対する建設費補助として2億800万円の債務負担行為を設定し、平成29年度に一括して支出することが盛り込まれています。債務負担行為設定の理由は、今年10月に予定されている文部科学省への大学設置認可の申請に間に合わせるためとされており、いわば「待ったなし」の状況で議会に提案されました。

受験生の急減期を迎える中で、全国的に農学部の新設ラッシュとなっているもと、新潟県は今後の入学者の確保状況や就職状況を検証しながら補助する方針です。

ところが新潟市は、一方で厳しい財政状況を繰り返し強調しながら、この問題では法人の経営状況等を調査・検討したのかも疑問で、入学者確保や就職状況の検証を行う仕組みもありません。このような状況の中での債務負担行為には賛成できないという立場から一般会計補正予算案に反対しました。

#### BRT専用走行路の社会実験に関する陳情の採択を求める

11月に実施されるBRTの専用走行路・島式ホームの社会実験は、市民への説明会さえ持たれていません。市民合意のない中で本格実施した場合、7億2千万円もの高額な税金を投じることになります。陳情者が求めている①十分な情報公開を行った上で、沿線事業者・タクシー事業者・一般市民等からの意見聴取の機会を設け、それを踏まえて社会実験実施の是非の判断をする、②社会実験前に十分なシ

ミュレーションを行うことの願意は妥当であり、採択を求めました。



野本孝子議員

#### さらなる介護保険の負担増と介護保険給付外しに反対する意見書に賛成討論

日本共産党議員団は、他会派に働きかけて「さらなる介護保険の負担増と介護給付外しに反対する意見書」を共同提案。野本孝子議員は27日の本会議で、意見書案にたいする賛成討論を行いました。

野本議員は、政府が2018年度から介護サービス利用料の2割負担の対象者を拡大し、「要介護1、2」の生活援助、福祉用具貸与などを保険給付から除外しようとしていることを厳しく批判。利用者やその家族に苦難と犠牲を強いる介護保険改悪を中止させようと訴えました。

意見書案は、自民党系会派と公明党などの反対多数で不採択となりました。



平あや子議員

安保法制の具体化と発動を許さず廃止を求める意見書を提案

日本共産党議員団は、他会派に働きかけ、「安保法制の具体化と発動を許さず、廃止を求める意見書」を共同提案。平あや子議員が27日の本会議で提案理由を説明しました。

議員は、内戦状態にある南スーダンに派遣する自衛隊部隊に新たな任務を与え、武器使用を拡大することは、自衛隊員が戦後初めて「殺し、殺される」深刻な事態を招くと訴え、意見書の採択を求めましたが、自民党系会派と公明党などの反対多数で不採択となりました。

#### 市議団の日程

- 9月29日（木）決算特別委員会（総括質疑）
- 9月30日（金）決算特別委員会（分科会）
- 10月3日（月）決算特別委員会（分科会）
- 10月4日（火）決算特別委員会（分科会）
- 10月5日（水）決算特別委員会（分科会）
- 10月6日（木）決算特別委員会（分科会）
- 10月11日（火）決算特別委員会（採決）